



JHFレポート

4月号

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

1999年

役員立候補者公示、理事に13名、監事に3名が立候補

2月25日、JHF選挙管理委員会によって、新役員の立候補者が公示されました。立候補したのは、理事に13名、監事に3名。投票は、3月17日に東京都羽田空港ターミナルビル・ビッグバードでのJHF総会会場において。このレポートができあがる時には、選挙結果が出ているはずですが、

立候補者は、次のとおり。なお、役員の定員は理事が6名以上11名以内、監事が2名

以内です。

立候補者()内は推薦都道府県連盟

理事 渡邊 敏久(東京)

岩間 雅彦(神奈川)

小林 朋子(神奈川)

星野 納(神奈川)

板垣 直樹(茨城)

関谷 暢人(東京)

田中美由喜(東京)

朝日 和博(秋田)

松田 保子(東京)

横尾 和彦(埼玉)

川添 喜郎(埼玉)

曾我部真人(埼玉)

松永 文也(埼玉)

監事 宮川 雅博(愛知)

鈴木 康之(東京)

坂本三津也(京都)

委員会の動き

PG競技委員会 委員長 岡 良樹

今回は特に委員会として目立った動きはありません。早く天候が全国的によくなり、大会が活発に開催される時期が来ることを願っています。

今年のパラグライディング日本選手権の開催地は、新潟県尾神岳に決まりましたが2000年度日本選手権開催の立候補が、今のところまだ出ていません。どちらかの連盟で「ひとつやってみよう」というところはありませんか。ぜひご連絡をJHF事務局まで。お待ちしております。

HG競技委員会 委員長 大澤 豊

2月17日～21日、和歌山県打田町紀ノ川フライトパークで「HANGGLIDER関西選手権'99」が開催され、初日は参加62名中32名のゴールが出ました。詳細はホームページに掲載してあります。

また「ハンググライディング日本選手権in広島」が、3月21日～27日の7日間、広島県神ノ倉エリアで開催されます。期間中はHG競技委員会が常駐していますので、1999年新ルール等に関して質問がありましたら、遠慮なくお尋ねください。

4月3日・4日には、公認大会の「足尾オープンカップ」(クロカン大会)が開催されます。参加希望の方は、HG競技委員の目下まで。

尚、ホームページに情報を掲載したい方は、JHF事務局内、HG競技委員会宛にFAXまたはメールでお寄せください。

HG競技委員会事務局 <http://tomato.saino.ne.jp/~haku/JHF-HG.html>

教習検定委員会 委員長 島野 広幸

タンデム技能証制度のスタートにあたり、

はじめに教員対象の特別検定会を実施します。現在のところ、6月から7月にかけて全国15～16会場で行う予定です。有効な教員技能証を所持する方には、申込書を含む資料が3月中に送付されます。このタンデム技能証特別検定会でタンデム技能証を取得した全国の教員が、その後のタンデム検定を行うこととなります。現フライヤー登録ではカバーできないパッセージャーに対する保険の知識や、安全フライトについての正しい技術等の再確認も、今回の検定会の大きなテーマです。

全国の皆さん、教習検定委員の全国行脚を暖かく迎えてください。

補助動力委員会 委員長 山崎 勇光

今月は伊藤祐貴委員の紹介です。大分市のアウトドアスポーツ・ディバックの経営者として多忙な毎日を送っている彼は、空と海を愛し続けて41年。三十代とも思える若さを保ち今日も空へ海へと働いています。そんな彼のスカイスポーツとの出会いは、25歳の時。東京からUターンで大分に帰り、その前からやりたいと心に決めていたハンググライダーを見に行った時のこと。ちょうどランディング場に進入してきたハングが手前の土手にクラッシュするのを見てビビり、ハングを諦め、若い女性の多いスキューバダイビングを始めました。2～3年後、別府でのパラの練習風景を偶然テレビで見て、これなら簡単そうで俺にもできると思い、当時別府でハングを教えていたUPスポーツの梅田昭守氏(現在はハングショップZOOM経営)に、梅ちゃんもあまり知らなかった(?)パラグライダーを習いました。

大分エリアについて一言。大分はハング/パラグライダーの先進地。1981年別府で

のハング世界選手権など、数々の大会が開催された所で、県外からも多くのフライヤーが訪れています。非常に恵まれたエリアが多く、中でも鶴見岳(1375m)からスビーチまでのフライトは高度差1300mの日本一を誇り、しかも安定した海風で飛べるので、フライヤーには大人気です。

すでにMPGの皆様にはフライト手帳が届いていることと思います。内容が十分とは言えないところがありますが、今後のMPGのプランに役立てていただければ幸いです。

空のかお

その19



木本雄一(きもとゆういち)さん
以前はダイビングに熱中し、国内外の海を巡っていた。2年前にパラグライディングを始め、仕事の合間にはかかさずフライトするようになった。P証を取ってから慎重になったと話す彼だが、「大気圏を突破するくらい上げてみたい」と夢はどっかい。

北海道ハンググライディング連盟

私の住んでいる紋別市のイベントを紹介いたします。

わが町の最大のイベントは、オホーツク海を埋め尽くす流水をバックにした「流水祭り」です。昨年から、会場の一角にスカイスポーツコーナーを設け、東京農大の熱気球、ハングをクレーンで吊したクレーンランチドハングの体験搭乗、モーターパラのデモ、パラの無料体験等々、当連盟で行っています。

今年も2月中旬に華々しく開催。熱気球、ハング共に2日間で200名を越える搭乗者を数えました。とにかくハングが好評で、今回は親子のタンデムが人気でした。

モーターパラで観る流水の海は「素晴らしい」の一言につきます。来年の会場も確保しました。皆さん流水の空を飛びに来てください。お問い合わせは、当連盟事務局 TEL.011-582-0790 長谷川栄次、または普及委員の吉野正規 TEL.01582-3-7756 まで。

吉野正規

秋田県ハンググライディング連盟

春の訪れが待ち遠しい秋田よりレポートします。

秋田県は田代町にてハンググライダー大会が行われるようになってから、早14年になります。その間、田代町はもちろん、地域住民の方々にもたいへん支援していただきました。昨年はまた、田代と長野に窯を持つ彫刻家、松田様よりハンググライダーの絵模様の入った焼物の盾を寄贈していただきました。この盾は、昨年の大会優勝者である峰岸さんの手に渡っています。

今年に入ってから、田代町早口郵便局より全国へ向け、「十ノ瀬山とハンググライダー」というふるさと絵葉書を発進していただきました。確認スタンプもハンググライダー絵模様となっています。ぜひご利用ください。

小松園悦

宮城県ハンググライディング連盟

今月は、県連機関誌「サマル」99年2月号より抜粋した、当県連'98PGポイントシステム順位表をお知らせします。

98年度宮城県PGポイントシステムが、先日のうまっ子山カップ'98をもって終了し、年間順位が決定しました！本年度は5戦中3戦が成立。特にオニコウベカップ、うまっ子山カップは例年ない絶好のコンディションに恵まれ、過去何年かまったく飛べなかったツケを一気に取り戻した感のある1年でした。本年度のポイント1位は、SPQ サンライフパラグライダークラブの川村真さん。七ヶ宿カップ、オニコウベカップと安定した強さを見せつけての、ぶっちぎりの優勝でした。

川越敏明

- | | | | |
|----|-------|-----|-------|
| 1位 | 川村 真 | SPC | 49.0点 |
| 2位 | 小松 潤一 | SPC | 32.0点 |
| 3位 | 佐々木裕行 | SPC | 27.5点 |
| 4位 | 近藤 泰洋 | SPC | 24.5点 |



岐阜の高山スカイセーリングクラブ新年会&25周年記念パーティー。楽しい一夜だった。

5位 奥村 裕 SPC 20.0点

5位 西山 康典 ウインドヒル 20.0点

栃木県ハング・パラグライディング連盟

4月10日(土)午後6時から、宇都宮市大谷街道沿いの城山地区市民センターで、補助動力学科検定を行います。お問い合わせはTEL.090-8946-5126、事務局の塚部まで。谷古宇瑞子

岐阜県フライヤー連盟

1月23日(土)老舗のスカイスポーツクラブ高山スカイセーリングクラブの新年会&25周年記念パーティーが開かれました。岐阜県はもちろん、遠方からも各スクール、クラブ、メーカーと、約70名が集まる盛大なパーティーです。

その昔、ハングを手作りしていた方や、滑空比3なんてパラグライダーで飛び始めた方など、空の同窓会が開かれる傍らで、練習生たちはその歴史のある会話に感心するばかり。これからもずっと空を飛び続けようと再認識したような気持ちです。

当連盟理事長が経営する株地ビール飛騨より、たくさんの地ビールをいただき参加者一同ほろ酔い。そのままクラブの助教員トムが営む「トムの店」へ大移動。たらふくワインを飲み、幸せな夜になりました。

24日(日)には、ロッセ高原や上宝高原スキー場に移動し、多くの仲間とフライトを楽しみました。

参加してくれた皆様、本当にありがとうございました。次回のウン十年記念パーティーにも大勢参加していただけるのを楽しみにしています。今後も楽しく飛び続けることができるように頑張りましょう。

小林豊治

岡山県ハンググライディング連盟

県連主催で、写真コンクールを行う予定です。実施期間は、6月下旬頃。応募締切りは5月末日。審査は、一般市民の投票による予定です。観光の街「倉敷」で開催します。詳しくは募集要綱をご覧ください。

3月28日(日)に、岡山県連PG大会'99を開催します。開催地は岡山県阿哲郡大佐町の大佐山フライトエリア。NP以上の参加が可能です。毎年恒例といえるようになり

ました。

お問い合わせは、担当委員長、福田勝宣 TEL.0868-24-5526(自宅)まで。

沼田敦子

福岡県ハング・パラグライディング連盟

1月24日(日)に、当連盟の平成11年度定期総会が開催された。当日は晴れていたが、強い季節風のおかげか(?)会員約60名が参加。「98年度事業報告、決算報告」「99年度事業計画予算案」の議題が審議され、最後に今年度の新理事が選出された。

また、総会に先がけて、救急隊員であり現役のパラフライヤーでもある坂口氏による「アクシデントセミナー」が開催された。福岡県連では、毎年総会前に救急法に関するセミナーを開催しており、今年は講師がフライヤーとあって、より実践的で役立つ内容となった。なかでも「落ちた時の状況が解れば、必要な機材を持って行ける」ことや、「救急車にはGPSを積んでいないので、山の中は先導者がいた方がいい」ことなど、裏話も聞きたいへん参考になった。しかし、本当は、今回のセミナーを役立たせる機会がない方がいいのですがね。

4月10日(土)・11日(日)に、SSA平尾台パラグライダーカップ'99が開催される。P証から出場可。ふるってご参加を。(連絡先等は5ページの「大会開催予定」をご覧ください。) 越智善治



福岡県連のアクシデントセミナーより。

TOP OUT トッパアウト



はじめまして、全国のフライヤーの皆さん。私達は福岡県を中心に活動しているパラフライヤーです。今回、「お国自慢」と言う事でエリア&クラブ紹介をさせていただきます。

私達のクラブの大半はトッパアウト(九州男児 がんこオヤジ)というパラスクールの出身ですが練習生時代からパイロットになってもお世話になりまくっているエリアが「奈多海岸エリア」です。名称からお解りなるとは思いますが、海岸線沿いのエリアで波打ち際の上空を絵に描いたようなリッジソアリングで楽しめます。条件さえ良ければ、わずか40m前後の高度を維持しつつ、5km近くの距離(新宮半島アウト&リターン9km)をフライト可能。遮られる

事のない太陽、どこまでも青く続く空と海、その遥かな境界を示すかの様に聳え立つ真白い入道雲、手の届きそうな美砂浜、ふと海風を目で追うとその先に陽炎けぶる福岡の街タワーもドームも一望です。まさに「夏本番」のエリアです。

続きましては同県篠栗町に位置する「米の山エリア」。過去にはパラの世界選の会場にもなった事もあるエリアで、ガツンとくるサーマルや南や東方向に伸びている尾根は、フライヤーに夢のあるフライトプランを提供します。テイクオフ前方には福岡市街地が広がり、博多湾越しに先程紹介した奈多海岸も見えてます。ハング・パラ同居のエリアであり、条件の良い日のテイクオフは大賑わい。皆がテイクオフしていけ

ば、フライト天国へと早変わりします。市街地を真っ赤に染めあげ沈みゆく太陽を、輝き増していく月の下、昼と夜の狭間でのおんびりイベントにしゃれ込むのもイイ感じですよ。

私達は、主にトッパアウト卒業生で構成されたチームやクラブを複数結成しています。老舗の「空狂S(スカイクルーズ)」、少数精鋭の「チーム恋の浦」、所属する為には自前七輪が必要不可欠な「耳納七輪の会」、平日も飛びまくっている「平日クラブ」、日選福岡代表をかかえる「ファニーカンパニー」、そして私が所属する「AIR REAL」。お祭り好きの我々は九州一円、広島神の倉等の大会にはよく参加させていただいています。今年もまたお邪魔させていただきます。

私が所属する「AIR REAL」は、まだ結成されたばかりの新チームで、メンバーもP証を取得して一年も経ってない新米ばかり3人組です。フライトする事を楽しみつつテクニックを磨き、またフライトする事の楽しさを人にかけて貰えるようなチームを目指しています。だって、空は飛べる人達だけのモノにしてはあまりにも大きいじゃないませんか。

記：AIR REAL 代表 坂口祐一郎

みなさん、トッパアウトのホームページで楽しい仲間紹介、エリア情報、大会案内etc、ご覧ください。

<http://www.alles.or.jp/pub/topout/>



大会報告

HANGGLIDER KANSAI LOCAL'S '99
1999年2月17日～21日

和歌山県紀ノ川フライトパーク

- | | | | |
|----|-------|-----|---------|
| 1位 | 外村 仁克 | 大阪府 | 1994.7点 |
| 2位 | 藤沢 勇一 | 茨城県 | 1727.8点 |
| 3位 | 友広 勉 | 大阪府 | 1602.4点 |
| 4位 | 峰岸 正弘 | 茨城県 | 1467.5点 |
| 5位 | 平山 孝文 | 大阪府 | 1432.1点 |
| 6位 | 富原 淳 | 埼玉県 | 1386.8点 |

女子の部

- | | | | |
|----|-------|-----|---------|
| 1位 | 香川 祥子 | 大阪府 | 1003.2点 |
| 2位 | 春山 和美 | 奈良県 | 848.6点 |
| 3位 | 井出 有生 | 大阪府 | 422.6点 |

この時期恒例の大会「関西選手権」が、紀ノ川フライトパークで開催された。ところ

が、気まぐれな天気には勝てず、初日と最終日のみの成立となった。初日は穏やかな条件の中、30.3kmのタスクを設定し、参加選手の56%にあたる32名ものゴール者を出した。2日目は雨のためキャンセル。3日目は前線通過のためキャンセル。4日目、ゲートをオープンし30名の選手がテイクオフしたが、強風のため途中キャンセル。最終日の5日目、強めの風の中、51.6kmのタスクを設定し、6名がゴールして50kmボーナスを取った。結果は、地元外村選手が99年第1戦に続いて2勝目を果たした。2位の藤沢選手、3位の友広選手と、上位の3名とも、1日目と5日目の両日ゴールした選手だった。

補助動力フライヤー各位

1月に補助動力委員会が配布しました「MPG・MHGフライト手帳」に重大な落丁がありました。技能証取得者名簿のページの重複により、66ページと79ページの名簿が脱落しております。該当番号0161番から0200番と0681番から0720番の80名の方々には、訂正シールをお送りすると同時に深くお詫び申し上げます。

補助動力委員会

求む、フライトエリア情報

「HG/PG エリア一覧」をJHF ホームページにも掲載していますが、内容が古くなりました。新情報をぜひお知らせください。JHF事務局内、広報出版局まで。FAX.03-3597-0245 広報出版局

理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

2月理事会

1999年2月24日(水)13時30分～17時
東京都港区立生涯学習センター202学習室
出席：渡邊敏久、川添喜郎、鈴木康之、岩間雅彦、関谷暢人、小林朋子、星野納、松田保子各理事、坂本三津也監事 欠席：朝日和博理事、宮川雅博監事 議長：関谷暢人
スポーツコンベンションについて
渡邊会長より、福岡でのスポーツコンベンション'99について、報告があった。
フライヤー登録移管について
川添副会長より、JAAとの「フライヤー登録移管」交渉について、報告あり。
スポーツ振興基金について
事務局より、スポーツ振興基金の99年度申請ヒアリングについて報告。

1999年度JHF事業計画(案)につき審議
1月11日付で各正会員に送付し意見を募った、99年度事業計画「1/20理事会案」を3月総会に提案することについて審議。賛成7、反対0で可決した。

1999年度JHF会計予算(案)につき審議
1月11日付で各正会員に送付した「1999年度会計予算(案)」に対して、正会員から寄せられた意見について。

愛媛県連盟
ア。「JHF会費制度の確立」と「JHFフライヤー登録制度の開始」については、同じものである。総務局で事業計画案を作成する段階で、別々の項目が一つになったものと、総務局、星野理事より説明あり。

イ。「JHF会費制度施行による収入の予算書上の取扱い」については、「収入の見込額が不確定なため、2000年3月総会で補正予算を組む方向で考えている」という、財務担当の朝日常任理事の考えを、岩間常任理事が説明した。

ウ。「99年度予算で、支出の部、事業経費、の『70%補助』とは、どのような意味なのか」については、「各県連への補助が一律70%ということではなく、全体の予算枠が70%になるということ、個々の県連盟の金額詳細は決まっていない」という、財務担当の朝日常任理事の考えを、岩間常任理事が説明した。

エ。「前項に関係して、総会開催地は各県を順番に回ってはどうか」という点については、「今後検討していく方向である」との、財務担当、朝日常任理事の考えを、岩間常任

理事が伝えた。

以上を文書にて回答することについて審議。回答文書は朝日常任理事が作成し、常任理事会で確認し、3月6日までに回答する。賛成7で可決。

岩手県連盟
「岩手県連盟が計画している2000年HG日本選手権の予算増額願ひ」について、「元来、日本選手権予算とは『補助』の目的で出ずるので、その補助金を使った予算内での開催をお願いしたい。よって、現状予算額のままと考えている」との、財務担当、朝日常任理事の考えを、岩間常任理事が伝え、「現状予算のままとする」とことについて審議。賛成7で可決。回答は朝日常任理事が行う。

HG競技委員会
HG競技委員会から出された「予算復活願ひ(ポイント計算費、ホームページ費、アンケート調査費)」については、「現状予算案の中に含まれているので、予算案のままとする」という、財務担当、朝日常任理事の考えを、岩間常任理事が伝え、これを原案に審議。賛成7で可決。

JHF会員規約(案)及び関連規程(案)について審議

前回1月20日理事会での協議の結果をふまえ、数ヶ所の字句修正を確認の後、審議。

・(社)JHF会員規約(案)

賛成7で可決。

・(社)JHF正会員規程(案)

賛成7で可決。

・(社)JHFフライヤー会員規程(案)

賛成7で可決。

・(社)JHF会員会費規程(案)

賛成7で可決。

JHFレポートの第三種郵便物認可申請について審議

広報出版局担当の松田理事より、JHFレポートの第三種郵便物認可申請を行うためのスケジュール案が出され、これを審議。賛成7で可決。

レジャー航空無線事業について協議

レジャー航空無線事業への協力業者募集呼びかけ(8社)に応じてきた5社についての比較資料が提出された。また、事業をより円滑に推進するため、関谷理事が加わるようになった。業者(機種)選定は、川添副会長、関谷理事、横尾事務長の3者に一任し、

理事会に報告してもらうことにする。

CIVL総会での日本の意見について
海外局担当の小林理事から提出された資料を読んで、意見のある理事は、3月2日までに小林理事に連絡する。

JHF定款改定の要望について
次回協議する。

タンデム技能証規定の運用について次回協議する。

*

「理事会ダイジェスト」は、理事会で話し合われたこと、決まったことのポイントをお知らせしています(審議事項はすべて掲載)。理事会の議事録は各正会員(都道府県連盟)に送られるので、必要な方はそちらをご覧ください。 JHF 広報出版局

3月臨時理事会(速報)

3月6日(土)13時30分から17時まで東京都港区のニュー新橋ビル会議室で臨時理事会が開かれました。CIVL総会出席のためデンマークに出張中の小林朋子理事以外の理事・監事全員が出席。以下について審議されました。

3月総会の議案

1999年度JHF事業計画案、1999年度JHF会計予算案を議題とし、終了後に、任期満了に伴うJHF役員の選任を行うことを可決した。

正会員から寄せられた総会議案

福岡県連盟・茨城県連盟から提案された「JHF定款第13条の3の削除について」は、総会議案として取り上げられることを可決。福岡県連盟提案の「理事資格を正会員にする」件は、情報が不十分なため議題とせず、提案者が提案理由の説明をする時間を設ける。

JHF会員規約案

JHF会員規約案を総会議案とすることを可決。

タンデム技能証制度運用

タンデム技能証制度の運用開始に伴い、タンデム技能証特別検定会を実施する等、教習検定委員会の原案を可決。

*

これは「速報」です。詳しくは次号または各県連に送られる議事録を。

日本ハンググライディング安全性委員会(JHSC)議事録

日時：1999年1月21日(木)13時～17時
場所：航空会館6階 602会議室
出席委員：阿部郁重、斎藤紀、岡良樹、下山進、幸路尚文
委任状 小宮國男、泉秀樹
オブザーバー：渡邊敏久、鈴木康之
機体登録申請者：トレッキングジャパン
技術部会(型式登録審査)
パラグライダー・新規登録

・TREKKING式 SUNBEAM-SMALL型(合格：PI-661)
・TREKKING式 SUNBEAM-MEDIUM型(合格：PI-662)
・TREKKING式 SUNBEAM-LARGE型(合格：PI-663)
定例委員会
合意・確認事項
・1月1日つくばエリアと大井松田エリアで

発生した2件のパラグライダー重傷事故について、事故報告書の提出を依頼する。
・ハンググライダーの安全性に関するCIVLからの諮問について、ラフラインを除き原案に同意する旨を、CIVL日本代表委員に伝達する。
・パイロット・レーティングがNPである機体は、JHSC飛行試験カテゴリー上パフォーマンスに該当することを確認。

事務局からお知らせ

99年度 JHF 学科検定員の登録
99年度 JHF 学科検定員の登録受付が始まっています。まだ登録が済んでいない方は、所属する都道府県連盟の事務局にお問い合わせください。98年度の登録番号では、学科検定会の開催ができません。開催申請(開催日の1ヶ月前まで)に間に合うように、早めに登録をお願いします。

99年度 JHF 助教員検定員の登録
99年度 JHF 助教員検定員の登録をまだ済ませていない方は、所属する都道府県連盟の事務局にお問い合わせください。

技能証の再発行
技能証を紛失するなどして、再発行を申請する場合は、「再発行依頼書」と「再発行

申請書(普通の紫の申請書)」が必要です。再発行依頼書には、技能証番号、技能証を取得されたスクール、教員の氏名など「発行を探すがかりとなる事項」を、なるべく多くご記入ください。最近「手がかり」が少なく、調査・確認に時間がかかり、お待たせしてしまうケースが多くなっています。JHF事務局で、技能証発行がコンピューター処理されるようになったのは、1年ほど前からです。それ以前のデータは入力されていないため、手作業で探します。技能証が届いたら、番号その他、記録しておくといいいでしょう。ご協力をお願いします。

スクール情報の登録と更新
スクール情報登録がスタートしてから1

年余りがたちました。各都道府県連盟を通じて登録されたスクールの活動内容は、JHFのホームページ上で紹介しており、これから飛びたいと思っている人をはじめ、多くの人々に情報を提供しています。

登録する情報は、主な講習地、講習内容、講習開催日など。登録料は1校につき2000円。登録は毎年3月31日まで有効です。登録申請用紙は、各都道府県連盟の事務局にあります。ぜひ登録してください。

また、すでに登録されているスクールには、事務局から手続きに必要な書類を送りますので、各都道府県連盟で更新手続きをしてください。3月31日で登録有効期間が切れますので、どうぞお忘れなく。

FAI表彰者が決まりました

1月理事会で、FAI表彰候補として、小川隆久氏と市田博久氏を推薦することに決定。JAAを通して推薦していましたが、正式にお二人が表彰されることに決まりました。

2月3日に急逝された小川氏が受けることになった「ポール・ティサンディエ賞」は、航空スポーツに貢献した個人に授与されるもので、日本の航空スポーツ界における最高の賞。「長年にわたり航空スポーツ発

展のために献身的努力を傾注し、団体組織等で指導的役割を果たし、その業績が顕著である」人に贈られます。1975年に日本で初めてハンググライディング講習会を開いて以来、ハング・パラグライディングの普及振興に尽力し、機材の品質・性能の向上に大いに寄与された小川氏は、今頃、雲の上で照れ笑いをしているかもしれません。

市田氏は、JHFの理事を12年(うち11年は副理事長)にわたってつとめ、ハンググラ

イディングの発展に大きな功績がありました。競技者として、また指導者として活躍された市田氏は「エア・スポーツ・メダル」を受けます。このエア・スポーツ・メダルは、航空スポーツに貢献した個人または団体に授与されるもので、ポール・ティサンディエ賞に次ぐ日本の航空スポーツ界の荣誉ある賞です。「長年にわたり航空スポーツ発展のために縁の下の力持ちとしての業績が顕著」な人に贈られます。

大会開催予定(1999年2月20日現在)

PS: ポイントシステム対象(ポイントシステム対象、公認については申請中を含む。) 参加資格 XC: クロスカントリー証 P: パイロット証 NP: ノービスパイロット証 B: B級練習生参加可 会員: 都道府県連盟に属する者

| 区分 | 大会名 | 日程 | 開催地 | 参加資格 | 参加費 | 締切 |
|-----|--|----------|--------------|------|---------|------|
| PG | 公認 SSA平尾台PARAGLIDER CUP '99 | 4/10・11 | 福岡県SSA平尾台エリア | P | 5,000円 | 3/25 |
| | 〒800-0332 福岡県京都郡苅田町鋤崎600 TEL09302-5-8834 | | | | | |
| PS | 公認 '99立山らいちょうバレーカップ | 5/2~5 | らいちょうバレースキー場 | XC | 20,000円 | 4/20 |
| | 〒125-0031 東京都葛飾区西水元6-22-15 TEL03-3608-8626 | | | | | |
| SPS | 公認 NASAスポーツパラグライダーCUP | 5/15・16 | 茨城県足尾山エリア | P | 12,000円 | 4/1 |
| | 〒315-0164 茨城県新治郡八郷町小屋576-1 TEL0299-43-0893 | | | | | |
| PS | 公認 第7回DKスカイジムPGカップイン朝霧 | 5/22・23 | DKスカイジム朝霧 | XC | 15,000円 | 5/10 |
| | 〒141-0001 東京都品川区北品川5-6-27 TEL03-3280-0861 | | | | | |
| SPS | 公認 第2回DKスカイジムSPSカップイン朝霧 | 6/5・6 | DKスカイジム朝霧 | P | 12,000円 | 5/24 |
| | 〒141-0001 東京都品川区北品川5-6-27 TEL03-3280-0861 | | | | | |
| PS | 公認 '99立山らいちょうバレーカップinサマー | 7/31・8/1 | らいちょうバレースキー場 | XC | 10,000円 | 7/19 |
| | 〒125-0031 東京都葛飾区西水元6-22-15 立山らいちょうバレーカップ実行委員会 TEL.03-3608-8626 | | | | | |
| PS | 公認 99高山ホルンバレーカップ | 8/28・29 | 高山ホルンバレー | XC | 15,000円 | 8/17 |
| | 〒125-0031 東京都葛飾区西水元6-22-15 高山大会実行委員会 TEL.03-3608-8626 | | | | | |
| PS | 公認 99Cooフルーツカップ | 10/9~11 | エアパークCoo | XC | 20,000円 | 9/30 |
| | 〒315-0157 茨城県新治郡八郷町上首1698-1 エアパークCoo大会実行委員会 TEL.0299-44-1408 | | | | | |
| HG | 公認 '99ハンググライディング足尾山オープンカップ | 4/3・4 | 茨城県足尾山エリア | XC | 10,000円 | 3/28 |
| | 〒285-0831 千葉県佐倉市染井野5-46-11 TEL043-462-0764 | | | | | |
| PS | 公認 '99板敷山スプリングフライト | 4/7~11 | 茨城県板敷山エリア | XC | 18,000円 | 3/28 |
| | 〒315-0164 茨城県新治郡八郷町小屋1276 TEL0299-43-6952 | | | | | |

検定会開催予定(1999年2月20日現在)

PGNP: パラ・ノービスパイロット学科 PGP: パラ・パイロット学科 HGP: ハング・パイロット学科 XC: パラ&ハング・クロスカントリー学科 PW: パラ&ハング・補助動力学科

| 開催日 | 開催時間 | 開催地 | 開催場所 | 定員 | | | | | 主催者 | 主催者 電話番号 | 検定員 |
|--------------|-------------|-----------|--------------|------|-----|-----|----|----|---------------|--------------|--------|
| | | | | PGNP | PGP | HGP | XC | PW | | | |
| 1999/4/10(土) | 14:00~17:00 | 岡山県阿哲郡大佐町 | SET大佐山講義室 | 20 | | | | | SET大佐山SS | 0867-98-3400 | 関口 泰生 |
| 1999/5/11(火) | 17:00~20:30 | 神奈川県横浜市 | 東戸塚地区センター会議室 | 10 | 10 | 5 | 5 | 3 | ヨコハマスカイスports | 0460-3-6958 | 中村 ヤスヲ |

副会長 川添 喜郎

この1年いろいろなことに忙殺されました。そのほとんどが事業や業務に関することでした。本来、法人の理事(役員)は経営者として役務を分担しています。しかしJHFの役員はお互いに甘く、あまり干渉しません。そのため、役務の片寄りが自然に生じます。このレポートが着く頃は、新しい役員が決まっていることでしょうか。意見を言うだけの評議員的な人ではなく、責任を持って役務をこなせる方々が選ばれることを期待しています。

業界の方々と親しく話し合いを持ちました。今置かれている苦しい状況を克服するには、お互いに強い協力関係を構築することが必要と思いました。

フライヤー登録移管の交渉が続けていますが、JAAはリストラクチャーの最中。落ち着いたら、また合間を縫って進行させねばなりません。

常任理事 事務局長 朝日 和博

初ソアリングの感動は忘れられません。今まで見る事ができなかった景色が目飛び込んできます。緊張感と感動で身体が喜びに満たされる時です。眼下には、緩斜面で飛行練習をしている人、斜面でソアリングする人が見えます。はるか遠くにXC飛行に出かける人、見物する人、ひたすら仕事をする人等、実にたくさんの人々が自分の周りに存在しています。その中に私も一人の存在としてあります。

JHFはいろいろな人々を含んでいます。仕事も、環境も、目的も、飛行技術も違います。でも間違いなく共通しているのは、みんな空が好きだということです。いよいよ1999年度が始まります。経済的には収縮傾向にありますが、できるだけ視点を高くして、多くのフライヤーが理解できるような運営をしていきたいと願っています。新年度も多方面の方々と意見を交わしながら共にJHFを築き上げていきましょう。

常任理事 岩間 雅彦

JHFホームページが正式運用されてから約10ヶ月がたちましたが、この間にパイロット・教員の検索ページ、スクール情報登録、HG/PGエリア一覧、HG/PG競技委員会のページ、申請用紙フォーム集などが登録さ

れ、徐々に内容が増えてきました。また、スクールのホームページ開設に伴うリンクの依頼とか、身近なスクールを紹介してほしいといったメールも届くようになりました。今後は、HG/PGの紹介など一般向けの情報にも力を入れていきたいと思っています。ホームページの内容についてJHFへの希望や意見がありましたら、下記までメールを下さい。

jhf@skysports.or.jp

理事 関谷 暢人

今月で2年間の理事任期が終わる。「JHFのために働けたか」と問われると、正直なところ「十分ではない」としか言えない。月に1回の理事会も、当初は問題なく出席できると思っていたが、98年度は時勢の影響もあり7割くらいしか参加できなかった。そこで感じたことは、理事会は出席したメンバーにより審議事項が決定されるシステムを改善することである。

このJHFレポートが発行される頃には新役員が決定しているでしょう。新任理事の方々には、今後のボランティア活動に頑張ってくださいと思います。ボランティア活動で重要なのは、いかに「継続」できるかです。そして、任期は2年しかありません。2年でやりこなせる事業は限られています。ですから、2年で達成できる目標を掲げ邁進してほしいと思います。

理事 小林 朋子

CIVL総会の準備はほぼ完了しました。今回は私にとって2度目の出席になります。1年ぶりに各国の代表と会えるのが楽しみです。

どうやって日本の意見をまとめて総会に持っていくかを工夫したつもりです。多くの方に、専門的な意見を含めて助言をいただきました。特に、パイロットの気持ちを第一に考えることの大切さを教えてくださいました。元CIVL委員の岡さん、安全性基準や航空法について詳しく教えてくださいました。JHF事務局の矢ヶ崎さんには感謝しています。

総会が終わったら、今度は皆さんにCIVLの様子をできる限り詳しく、わかりやすくお伝えしたいと思います。

理事 星野 納

1月に補助動力委員会はMPG・MHGフライト手帳を配布しました。一般フライヤーから「ハング・パラのフライト手帳は発行しないのか」という質問があったのでお答えします。

今回発行されたフライト手帳は、補助動力フライト独自のものです。所謂フライトログ手帳ではありません。内容は、以前から編集を進めてきた「フライトモラル集」で、体裁が手帳の形になっているだけです。補助動力フライト活動は、全国的にフライトモラルの確立が最重点課題となり、またフライヤー間の連帯や価値観の統一が幾度となく提唱されてきました。今回のフライト手帳配布は、それら大成するための不可欠な第一歩だと考えています。MPG・MHGは特殊な活動状況を含んでいることをご理解ください。

今回のMPG・MHGフライト手帳発行について、ご批評・ご質問がありましたら、補助動力委員会までご意見をお寄せください。JHF事務局にてFAXでも受け付けます。尚、電話によるご質問は、内容によって事務局職員では詳しく説明できない場合がありますので、補助動力委員もしくは担当理事まで直接ご相談を。委員の連絡先はフライト手帳をご覧ください。

理事 松田 保子

98年度が終わりに近づき、夏休みの最後に宿題を終えていない子どもの気分です。広報出版局担当理事としては、JHFレポートだけで息切れしては困るのだけれど、現実には厳しい。せめて残された任期内に、99年度以後の広報出版活動につながるよう、せっせと「種まき」に励みたいと思います。

3月号の「空のかお」に出ていただいた魚住さんと、「体験講習会を振り返って」でご紹介した松野大二郎君のお母さん、明子さんから、勇気が湧いてくるようなお便りを頂戴しました。ここにも小さな芽が出たゾと、嬉しくなります。また、昨秋から始めた「県連ニュース」のページには、県連広報係の皆さんが、忙しいなか原稿を送ってくれます。皆さん、ご協力ありがとうございます。芽が伸びてきた県連ニュース、大きく育てていきたいですね。

JHF ホームページもご覧ください。 <http://jhf.skysports.or.jp/>

| JHF 技能証発行数 (1999年2月28日現在) | | | | | |
|---------------------------|-------|--------|---------|---------|--------|
| ハンググライダー | P証 | 4,758 | パラグライダー | P証 | 17,527 |
| | C証 | 6,681 | | NP証 | 7,849 |
| | B証 | 11,218 | | 補助動力NP証 | 61 |
| | A証 | 10,633 | | B証 | 38,395 |
| | 補助動力証 | 22 | | 補助動力B証 | 120 |
| | XC証 | 1,048 | | A証 | 41,257 |
| | | | 補助動力A証 | 145 | |
| | | | 補助動力証 | 865 | |
| | | | XC証 | 3,245 | |

JHF レポート 4月号 (No.147)

発行日 1999年3月20日

発行 (社)日本ハンググライディング連盟
〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル4F
TEL.03-3592-2651 FAX.03-3597-0245

編集 JHF 企画部広報出版局

印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。